

櫻守の会

2022年2月号

2022年2月1日(通巻273号)

発行：櫻守の会代表 近藤 茂

〒665-0485 宝塚市栄3-4-10-505

会員数 113名(1月25日現在)

HP：<https://www.sakuramori.net/>

コロナ禍の初夢＝櫻守と桜の園

山岡保寛

1999(平成11)年に発足した「櫻守の会」も今年4月で24年目となります。やっと(もう)入会6年目を迎えますが、この序文の寄稿にあたり最近思い至ったことを記してみようと思います。そこで草創期のことをもう少し知ろうと改めて記念誌「10年の歩み」を辿ってみました。会長、事務局長他創設の労を担われた諸先輩の思い、ご苦勞の経緯、行政(知事、市長)の期待等を読むにつけ、「櫻守の会」が里山整備のボランティアグループとして先駆的存在であり、その活動はまさに今求められているSDGsそのものであることが確信できます。一方で会発足の原点となった行政・団体共催での多くの市民が参加した「桜の園づくり」の植樹会で植えられた桜100本は、そのほとんどが活着できないまま枯れてしまったことは本当に残念なことでした。植樹者の名札も付け下草刈り、灌木の除伐、水やりなどそれなりに愛情を注ぎ、また実生株の移植なども試みてきましたが、いまだ満足な「桜の園」といえるような景色は実現できていません。原因は何だったのか知りたいところです。庭木を育てるのとはわけが違う、ましてサクラは繊細なのでしょう。しかし笹部先生由来の多数のヤマザクラが大木にまで育っているのですから、要は私たちの技量と熱意なのでしょう。奈良吉野山の櫻守にも学んでみたいところです。

私たちは「櫻守」という言葉にひそかに誇りを抱きながら活動しています(皆さんもそうであろうと推測)。いまこのネーミングに悖ることはないだろうか。名は体を現すと云います。「桜の園」という名もまたしかり、違和感を持つ人はいないだろうかと心配になります。

今廃線敷はとても人気です。訪れる多くのハイカーに上っていただき桜も紅葉も楽しんでもらいたい。ゆくゆくは北摂の桜の名所の一つにでも数えられたら嬉しいことです。季節には桜坂から桜の尾根一帯を彩る満開の桜、そこでは次の開花に向け櫻守たちがたゆまず汗を流している。こんな風景を夢想します。もっとも、桜の成長を考えればそれを現実に目にできる現会員は、残念ながらそう多くはないでしょうが・・・この夢はもう一度原点に戻る大仕事、もちろん行政の方針決定、バックアップが大前提です。“植木の街”宝塚ですからやりようもあると思うのですが。あとは桜に精通した?ボランティアグループ「櫻守の会」が30~40周年を超えて・・・と行きたいものです。



コロナ禍のうちに何年か時が失われたような・・・皆さん、大いに夢を見ましょう!!

2022.01.07 隔水亭前で新年の祈願をする

***** 目次 *****

- P1 序文：コロナ禍の初夢＝櫻守と桜の園
- P2 2022年1月度活動実績表
- P2~5 活動報告：桜の園、青葉台、ゆずり葉の森、山手台、武庫山の森
- P5~6 お知らせ・案内：運営委員会報告、会員消息、武庫川エコハイク、焚火跡を発見
- P7~8 櫻守ひろば：サクラの雑学いろは第5回、出前ボランティア
- P8 活動予定表

活 動 実 績 表

1 月 度 活 動 実 績 表

月日	活動地・参加者 ()内は会員外	天候	作業内容	人数
12月21日 (火)	山手台 23名	晴れ	(大階段)階段および溝の清掃	5
			(里山こみち、桜の谷)枯れたクリ・コナラなどの伐採	10
			(中川大橋手前斜面)枯れ松伐採	8
12月23日 (木)	青葉台 17名	晴れ	(行者山登山路・青葉台口～小林堰堤間) 枯れ松伐採	7
			(光が丘ルート) 園路(階段、路肩)の補修	5
			(陽光広場) 笹、雑草の刈り取り	5
12月26日 (日)	桜の園 (亦楽山荘) 19名	晴れ	(桜の尾根)サクラ周辺の除伐、常緑樹間伐・剪定	11
			(さくらの道)常緑樹間伐、ヒコバエ処理	6
			(親水広場)遠見口倉庫整理	2
1月7日 (金)	桜の園 (亦楽山荘) 21名	曇り	(桜の尾根)サクラ周辺の除伐、常緑灌木間伐	9
			(赤松道)枯れ松伐採、常緑樹間伐	6
			(遠見の道)園路の補修・整備 (親水広場)	6
1月11日 (火)	ゆずり葉の森		雨天中止	
1月15日 (土)	武庫山の森 28名	晴れ	(北側道沿い)ヤマザクラの植樹	9
			(中央分岐)常緑樹の除伐	11
			(南谷堰堤付近)両岸の高木処理	8
1月18日 (火)	山手台 21名	曇り一時雪	(南斜面)植樹、作業階段の除草、オオキンケイギク抜き取り	7
			(桜の谷西側斜面)常緑低木などの伐採、伐採木置き場の設置、園路清掃	7
			(中川大橋手前斜面)枯れ松伐採、低雑木間伐	7
1月22日 (水)	桜の園 (亦楽山荘) 22名	曇りのち晴れ	(桜の尾根)元気なサクラ周辺の土留め地ならし、施肥の準備	6
			(つつじが丘～ササラ沢)園路に接近した枯木・常緑樹の間伐	6
			(遠見の道)階段増設・路肩補修、園路脇の整備 (広場整備・その他作業)	10

延べ参加者数 151

活 動 報 告

桜の園 (亦楽山荘)

12/26 (日) 近畿中部でも降雪予報が出る大変厳しい寒さの中、本年最後の活動を開始しました。2班に分かれ、桜の尾根での継続作業で、サクラ周辺の整備を進め、常緑樹の間伐・剪定をし、尾根上部ベンチからの眺望も開けて来ました。もう1班は、桜坂から東屋の園路に近い常緑樹の間伐、混んでいるアラカシ・ヤブツバキの間引きやヒコバエの処理、園路の落ち葉処理を行い明るい林になりました。年末恒例の倉庫整理も行い、隔水亭において山の神様に安全作業に感謝し、来年の安全祈願をして本年の活動を終了しました。



隔水亭での安全祈願



桜の尾根上部からの眺望



アラカシ伐採と園路整備

1/7 (金) 本年最初の活動は、厳しい寒さの中で開始され、新年恒例の安全祈願を隔水亭で行い、今年一年の安全作業を山の神様に祈願しました。

1 班は、桜の尾根で桜周辺の灌木剪定・常緑樹の間伐はほぼ目途が付き、次の準備を始める段階になりました。2 班は、赤松道ビューポイントを拠点とし、枯れ松は 30 cm 超の大径木や樹高 15m を越える大物伐採を無事処理できました。加えて、周辺のシダ類を刈取りスッキリしました。3 班は、遠見の道での園路整備で、桜の園の最奥地で園路が荒れており、危ない個所のルート変更などに精をだしました。



桜の尾根の整備



赤松道ビューポイント周辺整備



つつじが丘下の階段新設

1/22 (土) 残雪と粉雪が舞う、厳しい寒さでの作業でした。桜の尾根では、元気な桜を優先して周辺の土留めと地ならしを行い、施肥の準備を行いました。つつじが丘展望所からササラ沢までの園路では、接近して危険な枯木や見通しの悪い常緑樹の伐採を行い、別班では階段の増設と園路脇の補修並びに、不明瞭なルートの明確化を行いました。これにより、最奥の園路整備が進みました。また、「焚火厳禁」の警告板を設置しました。(清水 記)



桜の尾根ヤマザクラ土留め



ササラ沢園路枯木伐採



遠見の道階段増設

青葉台

年末間近か明け方は少し冷え込みましたが、作業開始頃には気温も上がり作業は捗りました。青葉台口～小林堰堤間の支多々川兩岸の松などの枯れ木を伐採しました。φ30 cm弱の枯れ松伐採では狙った方向に倒せず掛かり木となり処理に手間取りました。また笹やツタ等雑草の刈り取りを行者山登山路脇、小林南大堰堤下平および陽光展望台上面で行うとともに、光が丘ルートでは階段横木の補修、脆弱な路肩や階段両脇の流失した路盤をイノシシ対策として排水性改善のため石材使った改修を行いました。(加賀野 記)



行者山登山路脇枯れ木の伐採



光が丘ルート階段の補修



陽光展望台上面の雑草刈り取り

山手台

2021 年はコロナ禍で活動自粛が相次ぎ、10 月からは 3 か月連続で活動できたものの年 6 回の活動にとどまりました。

12/21 (火) 年内最後の活動なので、大階段は念入りに落ち葉や溝の泥まで清掃しました。里山こみち・桜の谷などでかなり大きな枯れ木 4 本を、中川大橋近くの斜面では、30 本以上の枯れ松を伐採しました。作業の最後に全員で、ご神木の前で 1 年の無事を感謝して、1 年を締めくくりました。

1/18 (火) 山手台として 2022 年最初の活動日。朝礼時は晴れていたのが、次第に曇ってき、時には雪が舞う変わりやすい天候でした。最初に全員で安全祈願をした後、作業に入りました。南斜面では、将来の景観を考え、苗床から掘り出した苗（モミジ 7 本、ミモザ 1 本、ヤマザクラ 4 本）を植樹しました。サクラの谷では、伐採木を散らかさないよう集積所を設置しました。中川大橋手前斜面では、前月に引き続き枯れ松 13 本の伐採を行いました。(岡 記)



中川大橋フェンス際のササ刈



朝の準備体操



伐採木の集積所

武庫山の森

新年初回の活動を晴れで迎え、更に多くの参加者に恵まれました。みんなで山の神様へ安全祈願をして作業を始めました。初回の活動として木を切る管理から木を守る管理に力を入れるためにもヤマザクラの植樹を行いました。道からも見える場所に植えることで近隣住民の皆さんにも楽しんでもらえるようになって欲しいです。昨年から継続の中央分岐付近の常緑樹処理は大物の処理もして明るい斜面になり今回で終了とします。南谷堰堤下流に多くのモミジがあり昨年綺麗に紅葉していました。堰堤付近にも広げようと考え堰堤下の両岸の高木を除伐しました。次回以降に下流にたくさんある実生のモミジを移植します(1/15)。

(横山 記)



ヤマザクラを育苗地からの掘りだし



堰堤付近の常緑樹処理

お知らせ・案内

運営委員会報告 (12 月度)

代表 近藤 茂

2021 年 12 月 25 日 (土) 9:45~12:00 ぷらざこむ 1

1. 新型コロナウイルス対応・・・現行方針「緊急事態宣言中は活動を休止する」ことを確認した。
2. 2022 年度活動カレンダー・・・一次案について審議した。要修正箇所を早急に修正し、出来上がり次第メール会員に送るとともにホームページに掲載する。2 月末に全会員に印刷物を送付する。
3. メール会員に送る会報の文書ファイル形式の変更
 - ・従来メール会員に送る会報は PDF 版と Word 版の 2 つを送っていた。Word 版は読み取る電子機器の環境により位置ずれが発生する欠点があるのに対して PDF 版は位置ずれが発生しないので、PDF 版のみの送付にしたかったが、PDF を閲覧できない会員がいたため両方を送っていた。
 - ・最近になって会員皆さんの電子機器も PDF の閲覧可能な新しいものに置き変わっていると予想されたので、会報 1 月号は PDF 版のみを送り、不具合のある方は連絡をもらうようにした。
(1 月中旬の現時点で、「不具合があった」との連絡は頂いていません。)
4. 2 月環境体験学習 (シイタケ植菌) 準備・・・学校側と日程調整を行っており、事前打ち合わせ行う。
5. チェンソー講習会・・・昨年度の講習会に参加を希望したが、定員の都合で参加できなかった人が多くいたため、今春も計画することにした。今年は既に定員に一杯なので、公募しません。
6. 活動内容を見直して会員の増加を目指す検討
 - ・2021 年度活動計画のうち「里山整備活動」の内容について審議した。目指す方向については皆さん色々な考え方を持っており、櫻守の会として意見統一しなければならない点が多くあることを確認した。継続審議とし、会員の皆さんに提示できるような素案をできるだけ早く作りあげる。

会員の異動はありませんでした。

桜の園で山火事一步手前の焚火跡を発見

運営委員会

会員の方より「1月4日に桜の園の赤松休憩所で非常に大きな焚火跡を発見した」との連絡を受け、現地確認をしたところ、山の木やベンチの一部が焼けていて、山火事になる一步手前の非常に危ないものでした。毎年冬季間に園内で2~3回の焚火跡を見つけていますが、これまで大きな悪質なものは初めてです。



ベンチの手前が焚火の跡、3m 後方の樹木とベンチも焼けていた

宝塚市公園河川課に本件を報告し討議した結果、下記の対策を取るようになりました。

- ①「焚火禁止」の標識を現在の木製から、文字がはっきりわかり且つ簡単に抜けない「金属支柱+アルミ複合板」に変更したものを市が作成し、過去に焚火跡があった場所に当会が設置する。
- ②今回の焚火跡の写真を入れた警告板作成し、過去に焚火があった場所に掲示する。



赤松休憩所 警告板設置

※1/22 活動日に設置済み

武庫川エコハイク 第176回「尼崎運河から武庫川河口を歩く」 エコグループ・武庫川

今回は武庫川エコハイク 第176回「尼崎運河から武庫川河口を歩く」の開催は中止いたします。【まん延防止等重点措置】が発出されました。武庫川エコハイク 第176回「尼崎運河から武庫川河口を歩く」の開催は中止いたします。エコグループ・武庫川

★お願い

コロナ感染症拡大予防対策で「中止」もあり得ますので最新の情報で確認ください

日時：2022年2月12日（土） 雨天中止
 集合：阪神電鉄「尼崎センタープール前駅」2階改札出た所 9時30分
 ルート：尼崎センタープール前駅前～元浜緑地～北堀運河（であい橋）～中堀運河～南堀運河～尼崎閘門～尼崎の森中央緑地～武庫川河口左岸～南武橋～阪神武庫川駅

◆約11km まち歩き 一般向き 解散：15時頃 阪神電鉄「武庫川駅」前

参加費：100円（保険代、資料代） 申込み：不要（当日集合場所にお越し下さい）

持ち物：弁当、飲み物（多めに）、雨具

服装：ハイキングできる服装

＊お問合せ：携帯 090-7763-6763（上田）

主催：エコグループ・武庫川 後援：兵庫県（自然環境保全）

URL：<http://ecomukogawa.web.fc2.com/>（武庫川エコハイクで検索）

1. 栽培品種の作り方

①新品種を作る上での重要なサクラの特性・・・これらの性質を利用して新品種を作ります。

- 1) 自家不和合性である、平たく言えば「自家受粉しない」ことです。雌しべには自分の花粉と自分以外の花粉を識別できる能力があり、自分以外の花粉とだけ交配します。
- 2) 自然界では野生種間で容易に交配して、交雑種を作ります。当然人為的に交雑種を作ることができます。
- 3) オオシマザクラで花弁が6枚以上の八重桜になったり、エドヒガンで枝垂れ桜を作ることが良くあり、これらの性質を利用します。
- 4) 交配させたとき、母親の性質を多く受け継ぐ。

②ピンクの濃い八重枝垂れ桜を作るとしたら（掛け合わせで作る一例です）

- 1) 枝垂れ桜、八重桜、赤い花の桜 の3系統で、原木として使用したいと思う桜を数種類ずつ選んで準備します。
- 2) まず2系統の桜を掛け合わせて（交配）させて、種子を採取します。父親と母親の組み合わせを変えるだけでも非常にたくさんになります。この種子を発芽させて育成し、花を咲かせて、良いものだけを選抜します。これに、残りの1系統を掛け合わせさせます。ここまでに最低10年位は必要です。
- 3) 種子を採取して、発芽させて育成し、花を咲かせます。ここまでに最低20年位は必要です。
- 4) 鑑賞用として期待通りの優れたものにするまで、掛け合わせを何代も繰り返します。完成するまで気の遠くなるような手間と年月がかかります。



鴨川・半木の道の“八重紅枝垂れ”

③文献に載っていた特殊な新品種の作り方

理化学研究所では、2007年に“御衣黄”に放射線の一種である重イオンビームを照射し、開花頃には淡黄緑白色、終わりの頃に淡黄ピンク色の新品種「仁科蔵王（ニシナザオウ）」を開発しました。

2. 将来の新品種の作り方（理論的に可能ですが、実際には行われません）

遺伝子解析をすると、枝垂れる性質はどのような塩基配列になっているのか、八重の性質はどのような配列になっているのかが分かってきます。そこでゲノム編集などの遺伝子操作を行って、期待したようなサクラを作り上げることが技術的には可能になると思います。しかしながらこの技術は学問的には面白いかも知れませんが、商業的に採算が合わないので恐らく進まないでしょう。

また遺伝子操作をして作出したものが外部に流出した場合、生体系にどのような影響を及ぼすのかも考慮する必要があります。

「夫婦岩」出前ボランティアの完了報告とお礼

(発起人) 林 三郎

櫻守の会の皆さんに協力願って実施して来ましたが、中山寺奥之院参道夫婦岩付近の整理活動を1月21日完了しました。計5回(延べ参加人数約50名)の活動で、見違える様な環境となり、多くの信者やハイカーの感謝の心が伝わって来ます。有難う御座いました。奥之院道と交差する林道の東奥は、多くの山桜が連なる花見処です。是非一度お越し下さい。

夫婦岩付近の参道の笹刈り取る



活動予定表

月別行事予定表

2月		場所等	3月		場所等
2月3日	木	桜の園(亦楽山荘)	3月2日	水	桜の園(亦楽山荘)
2月6日	日	武庫山の森	3月6日	日	武庫山の森
2月9日	水	桜の園(亦楽山荘)	3月10日	木	ゆずり葉の森
2月11日	金	ゆずり葉の森	3月15日	火	山手台
2月15日	火	山手台	3月19日	土	武庫山の森
2月19日	土	武庫山の森	3月21日	月	桜の園(亦楽山荘)
2月21日	月	青葉台	2月25日	金	青葉台
2月23日	水	桜の園(亦楽山荘)	2月26日	土	会報印刷/運営委員会
2月26日	土	会報印刷/運営委員会	2月27日	日	桜の園(亦楽山荘)

集合時間：桜の園(亦楽山荘) 親水広場 9時50分、武庫山の森 9時50分、他の3活動地は9時30分。
天候：当日朝 6時55分 NHK TV 天気予報で、兵庫県南部の午前・午後いずれかでも降水確率60%以上の時は中止します。

<編集後記>

オミクロン株の蔓延に脅威を感じつつ、2022年2月号をお届けすることが出来ました。活動もようやく軌道に乗ってきた最中の蔓延防止の発出は、この先の活動に影響が出るか不安になってきます。

本号は、年末年始や厳冬期の活動の様子が盛りだくさんです。そこで編集しながら気がついたことですが、この時期は、比較的明るい服装が多いと感じました。大方の皆さんの服装は、どこかの業者さんか登山家で茶やグレーが基調のようですが、この時期は防寒の為のヤッケやジャンパーなど赤色や黄色が目立ちます。冬枯れの殺風景な中に、明るく派手な色も、視認性向上のためにも良いことかなと思いました。(個人の感想ですが...)。この先は春を迎えるための準備期間です、感染予防をしながら、充実した楽しい活動を祈っています。
(清水 記)